

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成 27 年 1 月 28 日 (水) (14 : 05 ~ 15 : 15)		
実施場所	中手集会所	参加人数	18 人
参加対象	中手、中平、鉢、名ヶ山		
懇談内容	<p>【1. 発言者】 息子が市内にいたので、屋根雪処理の補助を受けたことがない。</p> <p>【市 長】 対象要件もあるが、お子さんが市内にいても差し上げられるようにはしている。</p> <p>【2. 発言者】 私の孫は長野県内の日赤で看護師をしている。地元に戻ってきてほしいが、働く場所があるかが問題だ。</p> <p>【市 長】 看護師やレントゲン技師、医師もそうだが、市内の医療従事者確保のための制度を考えている。</p> <p>【3. 発言者】 今は薪を人からもらって風呂を沸かしている。これからは燃料など使わず、こうしたやり方が広がれば良いと考える。</p> <p>【市 長】 「ミオンなかさと」の温泉は、沸かす時にはペレットを流し込んで、大きなボイラーで沸かしている。これにより二酸化炭素の排出も削減できる。市でも環境を大切にする取組みを一生懸命にやっている。</p> <p>【4. 発言者】 屋根雪処理の経費負担が市 6 割、個人 4 割となっている。公共の建物である「ふるさと会館」の屋根雪処理の負担割合も同じであり、地元負担も大きい。市道除雪と同じような支援をしていただけないか。</p> <p>【市 長】 市内にこうした施設が相当数あり、平等に考えなければいけない大きな問題である。検討したい。</p> <p>【5. 発言者】 給食で出す米を農協から買っているとのことだが、農協から買わずに我々から直接買ってほしい。</p> <p>【市 長】 給食に関しては今まで農協から減反枠の外で、一等米でなくても幅広</p>		

く受け入れ買わせてもらった。今後は、自分も学校給食用米として納めたいという方が出てくると思う。そうなった時にご相談いただけるように今準備を進めている。

【6. 発言者】

予約型タクシーを利用しているが、冬期間は中手・中平間の雪崩が怖い。冬期間は中平回りでなく、鉢回りで利用できないか。

【7. 発言者】

この予約型乗合タクシーは樽沢と名ヶ山、中平、中手の4集落を範囲として、電話を受けて回る形だが、中手だけの利用となる場合は、鉢回りで運行してほしい。

【市長】 ※ 発言6. 7に対して

使っていただくことが一番ありがたい。使い勝手のよいものにした